IMAGINE ROTARY

NAGASAKI DEJIMA ROTARY CLUB

2022-23年度国際ロータリー会長　ジェニファーE・ジョーンズ

WEEKLY
NO.1076
1/27 金
発 行

本日のプログラム　1 月27日（金）

新会員卓話：伊藤信博さん

次回のプログラム　2 月3日（金）

卓話：藤岡さん
「これからの石油とエネルギー環境について」

第1082回 例会

今年度 第23回例会　令和5年1月20日(金)
会員数73名(出席免除1名)　欠席23名　出席率 68.1％

■欠席者：福島、鉄川、牧、佐々木、田村、小西、鶴田、堤、山中、神保、西沢、殿村、内野、山形、原、坂元、相田、押渕、松石、光安、西村、山田、有川

■開会・点鐘：前田会長

■ロータリーソング：「それでこそロータリー」

■四つのテスト：高谷信一さん

■会長挨拶：前田会長

皆さんこんにちは。

1月２回目の例会となります。今月のロータリー特別月間テーマは「職業奉仕」であります。

先週、山中委員長による職業奉仕月間クラブフォーラムにおいて、佐賀で行われた職業奉仕セミナーに基づいてお話があっておりましたが、そのセミナーの中で私たちが例会の際に唱和する「４つのテスト」も職業奉仕であり、日本語訳の意味合いが本来のものと若干異なっており、ぜひ原文の意味を再確認されるとよいとのお話がありました。そこでこの機会に４つのテストについて調べてみましたのでご披露させていただきます。

「4つのテスト」は、約80年ほど前に作られ、大恐慌下、破産寸前状態にあったシカゴの調理器具メーカー、クラブ・アルミニウム社の再建のため、社員たちに倫理的価値観の目安となる簡潔な指針として作り上げたものであったとのこと。そして、この「4つのテスト」によりこの会社は、ディーラーや顧客、そして従業員の間に同社に対する信頼と好意が生まれ、信望が高まり、財政改善に寄与したとのこと。そのような背景で1942年、当時のRI理事の提案により、職業奉仕プログラムの1つの構成要素となりました。

そしてここからは完全に受け売りになりますが、本来の意味に沿った翻訳を試みている文章がありましたのでご紹介いたします。出典は、ネット上においてロータリアンが正しい奉仕理念を理解することを目的として、国内ロータリアンのお歴々が文章を寄稿しているサイトで「源流の会」というのがあり、その文章の１つをまとめてみました。

まず、四つのテスト（Four-way　test）。複数形ではなく単数形であるのは、事業を繁栄に導くためには四通りの基準を一つずつクリアーすればいいのではなく、四つ纏めたものを一つの基準として、そのすべてをクリアーしなければならないことを意味しています。

そして１つ目、「真実かどうか」（Is it the truth ?）

　商取引において、商品の品質、納期、契約条件などに嘘偽りがないかどうかは非常に大切な基準です。真実というのは、「80%の真実」という言葉が示すように、人間の心を通じたアナログ的な判定であります。ここは事実という言葉が当てはまりそうです。事実とはその事実があったか無かったかの二者択一を迫るデジタル的判定ですから、ここでは「事実かどうか」という言葉を用いるべきでしょう。

「みんなに公平か」(Is it fair to all concerned ?)

fair と all concerned という言葉の翻訳に問題があります。fair は公平ではなく公正と訳すべきでしょう。公平とは平等分配を意味するので、例え贈収賄で得た　unfair不正なお金でも平等に分ければ、それでよいことになります。all concerned は all だけが訳されており、肝心の concerned が省略されています。冒頭に述べたように四つのテストは「商取引」の基準として定めた文章ですから、この concerned (関わりのある人、関係する人) とは「取引先」のことを意味することは明白です。従ってこのフレーズは「すべての取引先に対して公正か」ということを意味します。

　「好意と友情を深めるか」（Will it build goodwill and better friendship ?）

goodwill　は単なる好意とか善意を表す言葉ではなく、商売上の信用とか評判を表すと共に、店ののれんや取引先を表します。すなわち、その商取引が店の信用を高めると同時に、よりよい人間関係を築き上げて、取引先を増やすかどうかを問うものです。「信用を高め、取引先をふやすか」と訳すべきです。

「みんなのためになるかどうか 」（Will it be beneficial to all concerned ?）

Benefitは「儲け」そのものを表す言葉です。商取引において適正な利潤を追求することは当然なことであり、決して恥ずべきことではありません。ただし、売り手だけが儲かった、また買い手だけが儲かったのでは公正な取引とは言えません。その商取引によって、すべての取引先が適正な利潤を得るかどうかが問題なのです。「すべての取引先に利益をもたらすか」と訳すべきでしょう。

ということで、新訳「４つのテスト」。

１つ、「事実かどうか」、１つ、「すべての取引先に対して公正か」、１つ、「信用を高め、取引先をふやすか」、１つ、「すべての取引先に利益をもたらすか」となります。

意味合いはこのような感じであるとご理解いただいた上で、唱和は今まで通りでお願いいたしまして本日のご挨拶とさせていただきます。

それでは本日も楽しい例会にしましょう。

よろしくお願いします。

■幹事報告：亀川さん

①理事会報告書配布について：1/13理事会報告書をBOXに配布しておりますので、ご確認下さい。

②親睦ゴルフ大会について：今年度は当クラブがホストクラブとなります。ゴルフ同好会メンバー中心に進めていく予定ですので、宜しくお願い致します。なお、第1回打ち合わせ会は2月3日（金）13時半～白鳥の間で開催致しますので、出欠返信お願い致します。

《委員会報告》

■ロータリー財団委員会：手塚さん（ポリオ募金）

■会長エレクト：塚本さん
（創立 25 周年実行委員会組織について）

■クラブ会報雑誌委員会：山口さん
（ロータリーの友紹介）

ロータリーの友1月号

■親睦委員会報告
ニコニコ披露：牛島さん

ニコニコ6件　20,000円（累計　568,000円）

■喜々津さん：元旦に米山奨学生だった中国の塗伝灯くんから国際電話がありました。両親と妻と娘との5人家族の彼も12月末に最後に感染したそうですが、元旦には元気そうで「今年の夏は日本に行きたい」と夢を語ってくれました。日本も4月からルールが変わりますね！

■北島さん：1月14日は34回目の結婚記念日でした。やっといい距離感で付き合えるようになりました。

■林さん：明日21日は33回目の結婚記念日です。来週はすごく寒くなる様なので、その前にどこか出かけたいですね！

■手塚さん：1月23日は妻の誕生日です。塚本会長エレクト、初の理事会、出席せずに申し訳ありません。

■寺岡さん：今月から入会させていただきました寺岡です。今後、どうぞよろしくお願い致します。

■武藤さん：来月2月7日14時より長崎法人会青年部会主催による新春公開講演会を開催します。そこまで言って委員会でおなじみの「門田隆将」氏の講演です。お時間ある方は是非ご参加下さい。チラシをBOXに入れています。ご覧ください。

■半期決算報告：海田会計

■閉会・点鐘：前田会長

１月誕生祝

■1 月誕生祝（3 名）

・澤山さん　・山下さん　・伊藤さん

3年ぶりに開催される「長崎ランタンフェスティバル」の準備が大詰めを迎えていました。

Nagasaki Dejima Japan

ＲＩ加盟承認
１９９８年９月３０日

■ 国際ロータリー第２７４０地区ガバナー　上村　春甫
■ 国際ロータリー第２７４０地区第１０グループガバナー補佐　鶴田　修
■ 長崎出島ロータリークラブ　会長：前田　利孝　幹事：亀川　忠信

■ 例会日：金曜日（１２：３０）
■ 例会場：ホテルニュー長崎　Tel.０９５-８２６-８０００
■ 事務局：〒８５０-０８６２　長崎市出島町１２-２９　夢進ビル２階
Tel.０９５-８２２−９６３２　Fax.０９５−８２６−４７５６
■ 創　立：１９９８.９.４　■ ＲＩ加盟認証：１９９８.９.３０

会報委員会：阿字野 仁、山口 孝司、池田 久美子、廣高 信彦、堤 祐敬、有馬 裕幸
dejimaro@lime.ocn.ne.jp　http://dejimaro.jp/

dejimaro.jp